

平成26年度ホタテガイ採苗情報（第9報）

平成26年7月2日

発行：岩手県水産技術センター
 協力機関：沿海振興局水産部・水産振興センター
 関係漁業協同組合



稚貝の付着は終盤とされます。

< 調査結果の概要 >

- 7月1日の唐丹湾の定点調査では水深0m～50mの水温が10～14℃台であり、水深10mの水温は前回より若干低くなっています。
- 小型ラーバの出現は6月中旬の調査から約200～300個/トンを維持していますが、大型ラーバや付着稚貝の出現数は減り始めたことから、稚貝付着は終盤を迎えたと思われます。
- また、6月16日の調査ではムラサキイガイの付着稚貝数は264個/袋/週と増加のピークを迎えましたが、今回の調査ではラーバ数が179個/トンと大幅に増加していますので、今後も付着は継続すると思われます。

< 宮城県の状況（6月25日発行宮城県ホタテガイ採苗通報） >

- ホタテ稚貝の付着が確認されており、ムラサキイガイのラーバも依然確認されています。

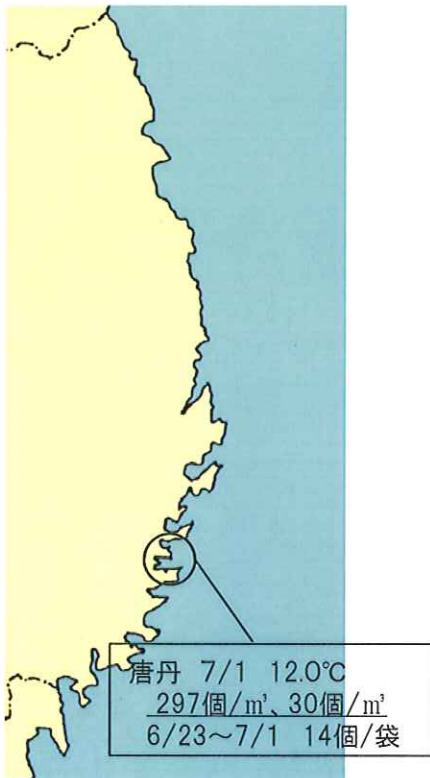


図1 各定点の調査結果

調査点 調査日 10m層水温
 ラーバ出現数(200μ未満、200μ以上)
 試験採苗器垂下期間 付着稚貝数

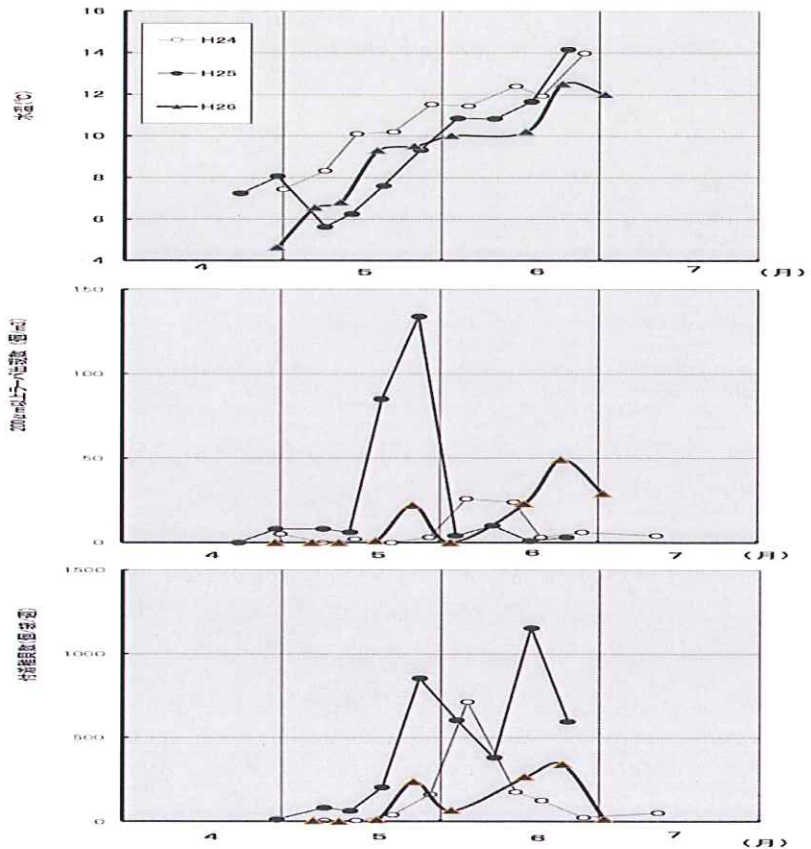


図2 唐丹湾における水深10m層
 水温とラーバ・付着稚貝の出現状況

次報は、7月8日に発行する予定です。